

# 夏山情報 3号 7 / 17 , 18

## 日本海から剣岳頂上へ

夏山情報 3号です。

今回は、地元ならではの挑戦、早月川下流より剣岳の頂上を目指しました。

ポイントは、馬場島までのマウンテンバイクです。

さすが、馬場島からの登りは、最初からペースが乱れました。

最後は、ペースダウンし、雷雨に見舞われ、やむなく剣山荘に宿泊することにしました。

二日目は、予定通り、室堂から称名滝へ抜けて、仕事になんとか間に合わせました。

早月川下流 4:00 - 馬場島 7:00 - 早月小屋 11:00 - 剣岳頂上 14:00 - 剣山荘 16:00

剣山荘 3:00 - 剣御前小屋 4:00 - 雷鳥沢 5:00 - 天狗平小屋 5:45 - 弥陀ヶ原

6:30 - 弘法 7:30 - 八郎坂 - 称名滝 8:30

ようやく5時頃には、夜が明けてきた。

伊折の橋では、今日の天気は予測できなかったが、馬場島ではようやく晴れ間も見えてなんとか天気はもちそうです。



途中、まるでガスで視界がよくなかった山が、ようやく毛勝三山も、小窓尾根も見えるようになってきた。



この天気は、どうなるか予測がつかないが・・・ようやく晴れた山々のスナップ。大日岳と、早月小屋方面。



時折、ガスの中、頂上への稜線が見える。自転車が堪えたのか、この辺では、めっきりペースが落ちた。もっていたスポーツ飲料・お茶3リットルも飲んでしまった。ようやく、頂上本日の予定の日帰りも、この段階で、ほぼ絶望的。結局、この時間ではこの後、誰とも会うことはなかった。



剣岳の下山中、ついに豪雨と雷に見舞われてしまった。

このまま、室堂へ向かうのは大変危険なので、・・・山で一番怖いのは雷です。・・・ホント。

本当に久しぶりに、何年ぶりでしょうか、山小屋に泊まりました・・・

これもなにかの縁でしょうか、実は、「剣山荘」は母親の親しい友人の経営する小屋なのですが、もう時代は変わってしまっていて、なにも言わずに泊まりました。

入浴しましたが、雷のためボイラーが止められました。

夕食もやや疲れた体には、とてもおいしく感じられ三杯もたべました。

宿のご主人と相談して、高原バスの始発はあまりに遅く、朝3時に出発すれば、そのほうが早いと、本来の目的どおりに歩いて称名滝まで下山することにしました。

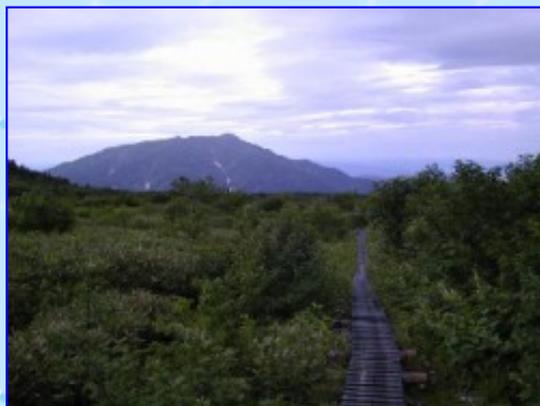
早朝、3時に剣山荘を出発。登山道は整備されていて、やや暗い道もペンキをたどれば安全に通行可能。順調に雷鳥沢まで達した。そこから地獄谷を通して、天狗平への遊歩道に行く。このコースは非常時整備されていて、快適なコースでした。



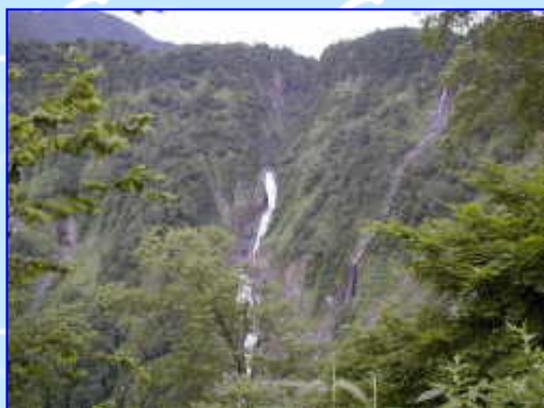
いよいよ弘法。左は弘法のバス停留所。手前の丸太はなにかわかりますか。?春の除雪のために、路肩の標識です。約8mあります。右は、八郎坂への案内標識です。ここから称名滝へ行きます。



天狗平からの立山連峰。弥陀ヶ原の遊歩道、奥に見えるのは鍬崎山です。



称名滝です。左の写真は、八郎坂の一番上の展望台。右は、やや中腹の展望台からの写真です。正面の本滝は、落差350m、右のハンノキ滝は500mとなります、この夏の湯水期には一時なくなります。



今日の出会い・・・

